

第8回久留米市 男女平等に関する 市民意識調査 報告書

久留米女性憲章

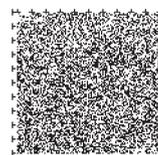
わたくしたちは、「男女共同参画社会 久留米」をめざし、人間としての自立と平等を基本理念として、家庭で、学校で、職場で、地域で、生涯を通じ、男女がともにのびやかに豊かに生きる新しいまちづくりを進めるために、この憲章を定めます。

- 1 男女平等をあらゆる場、あらゆる機会に進めます。
- 2 男女がともに自立し、いきいきと暮らせるまちをつくります。
- 3 男女があらゆる分野とともに参画できるまちをつくります。

昭和63年10月1日 久留米市告示第103号



令和2年3月
久留米市

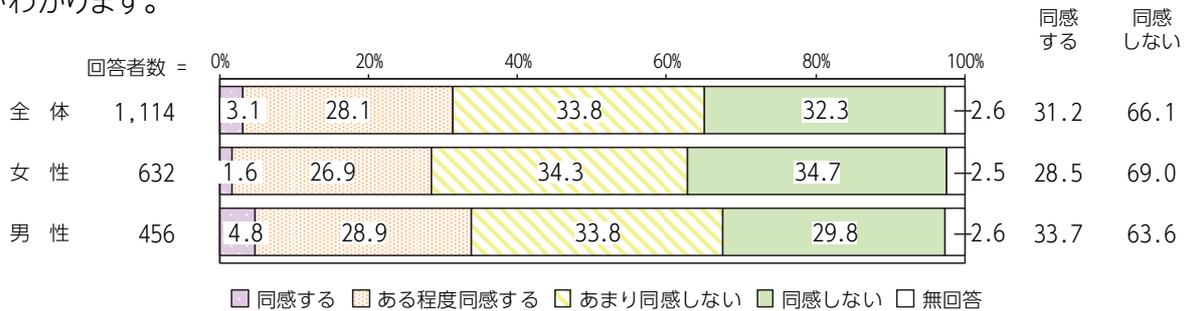


男女平等に関する意識

「男は仕事、女は家庭」という考えに同感しない人の割合は、前回初めて半数を超えた 53.4%をさらに上回り 66.1%となり、市民の男女平等の意識は年々進んできていると言えます。しかし、家庭や職場、政治の場において男性が優遇されていると感じている人は多い状況であることから、意識と現実が乖離していることがうかがえます。実質的な男女平等を実現するために、教育・啓発を進めるとともに、固定的性別役割分担意識に基づく慣習や慣行を解消していくことが重要です。

男は仕事、女は家庭という考え方

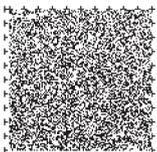
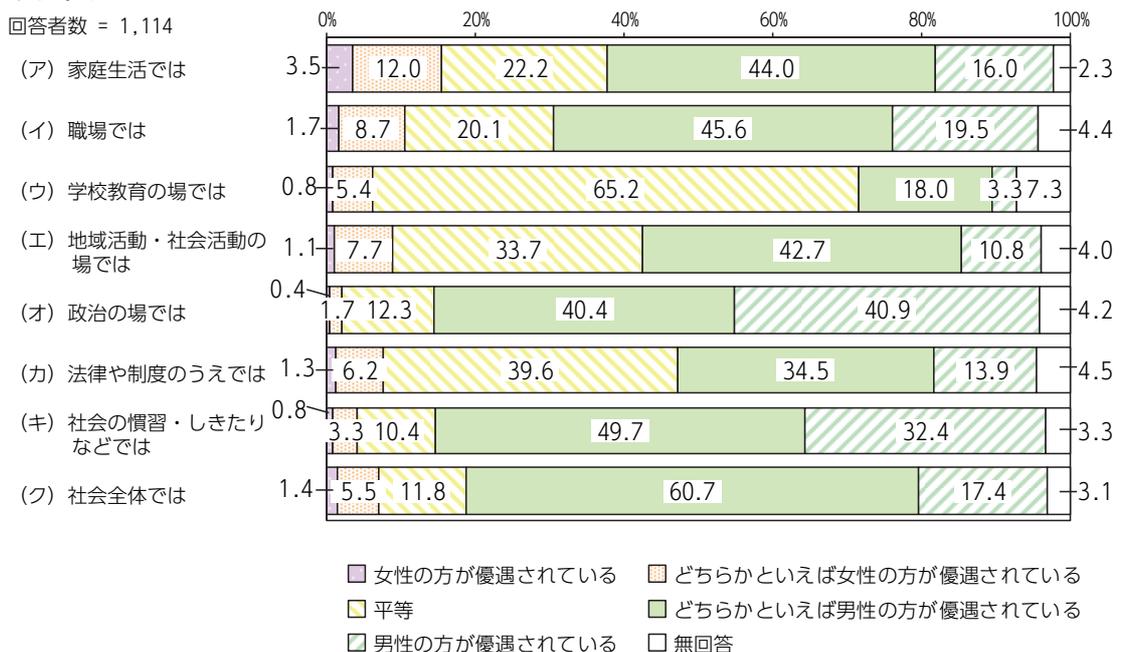
『同感しない』は前回調査に比べ 12.7 ポイント増えました。また、『同感しない』は男女ともに6割を超えており、女性は約7割と男性に比べ高くなっています。男女平等意識の啓発はある程度進んできていますが、同感する人が約3割いることから、まだまだ固定的性別役割分担意識が残っていることがわかります。



※ 「同感する」と「ある程度同感する」を合わせて『同感する』、「あまり同感しない」と「同感しない」を合わせて『同感しない』と表しています。

男女の地位の平等感

「社会の慣習・しきたり」や「政治の場」では、『男性の方が優遇されている』と感じている人が8割を超え、「社会全体」でも約8割が同様に感じています。「学校教育の場」を除き、男性優位の社会であることがわかります。

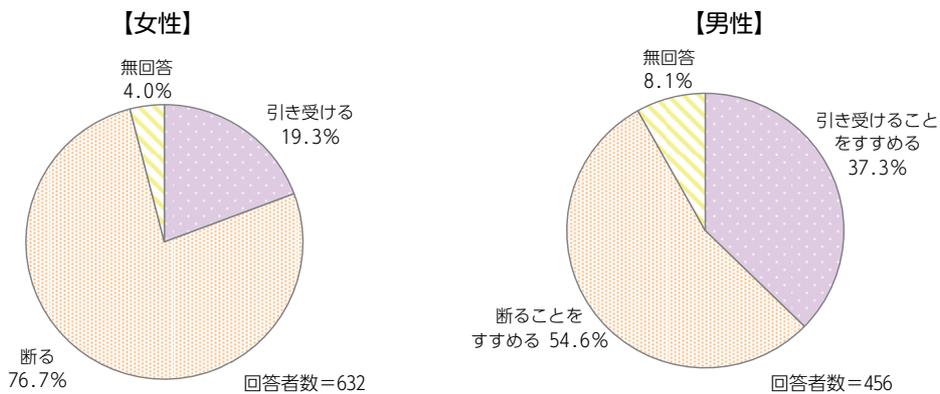


政策・方針決定の場への女性の参画

市では男女共同参画社会の実現に向けて、あらゆる分野における政策・方針決定の場に女性が参画できるよう取組を進めています。しかし、地域活動への女性参画の意識は男女ともにたいへん低い状況です。地域活動における意思決定の場に男女がともに参画することが、活力ある住み良いまちづくりに繋がることを啓発するとともに、誰もが参画しやすい環境の整備が重要となっています。

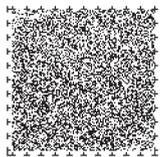
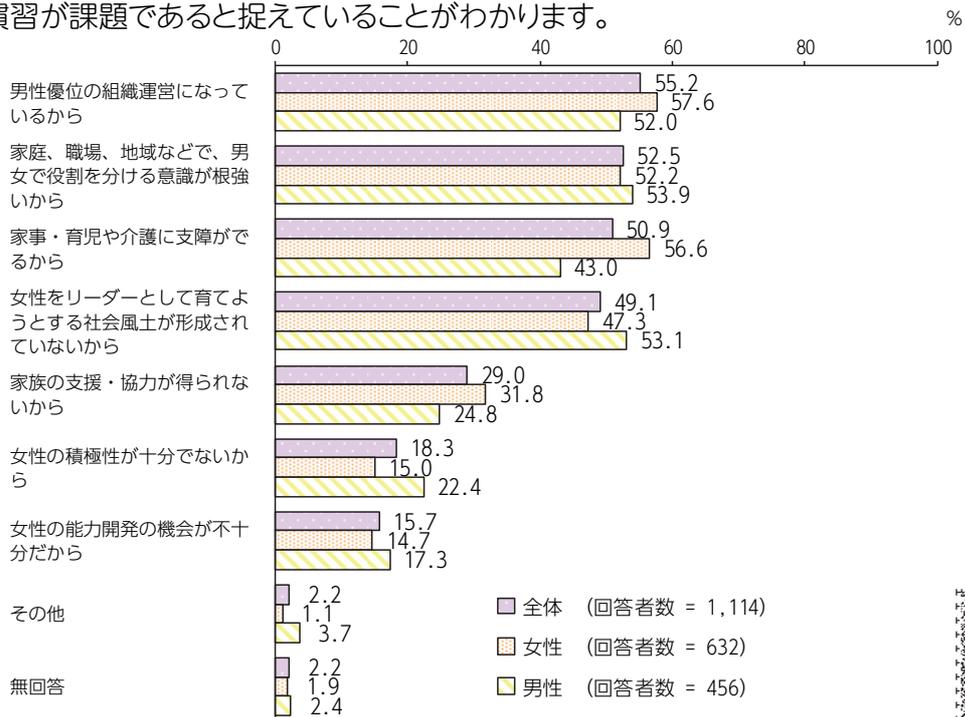
女性が地域の役職につくこと

「断る(断ることをすすめる)」は、女性で76.7%、男性では54.6%で、女性の方が高くなっています。女性は断る理由として「男性優位の組織運営になっているから」「家事・育児や介護に支障がでるから」をあげる人が多く、地域の環境や家庭環境により参画しづらい状況があることがうかがえます。



政策・方針決定の場に女性が少ない理由

「男性優位の組織運営」「家庭、職場、地域などで、男女で役割を分ける意識が根強いから」「家事・育児や介護に支障がでる」が5割を超えています。女性が上回っているのは「家事・育児や介護に支障がでる」「家族の支援・協力が得られない」で、男性が上回っているのは「女性の積極性が十分でない」「女性リーダーを育てる社会風土が形成されていない」となっています。女性は家族との関係、男性は女性の能力や慣習が課題であると捉えていることがわかります。

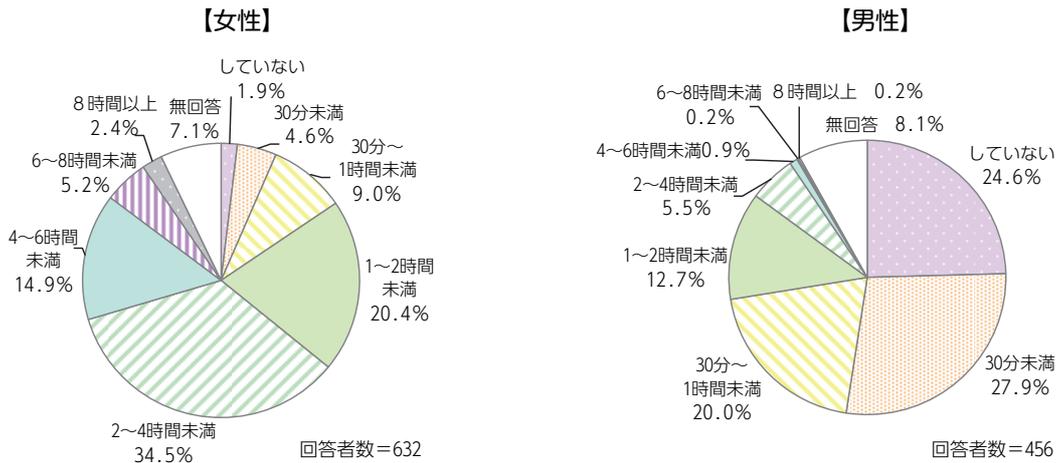


子育て、家庭生活

家庭生活において男性はほとんど家事に携わっていません。しかし、配偶者・パートナーにしてほしいこととして、女性は男性に家事や育児への参加を求めていることから、男性も固定的性別役割分担意識にとらわれることなく家事や育児に参画していくことが必要です。

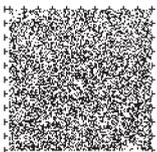
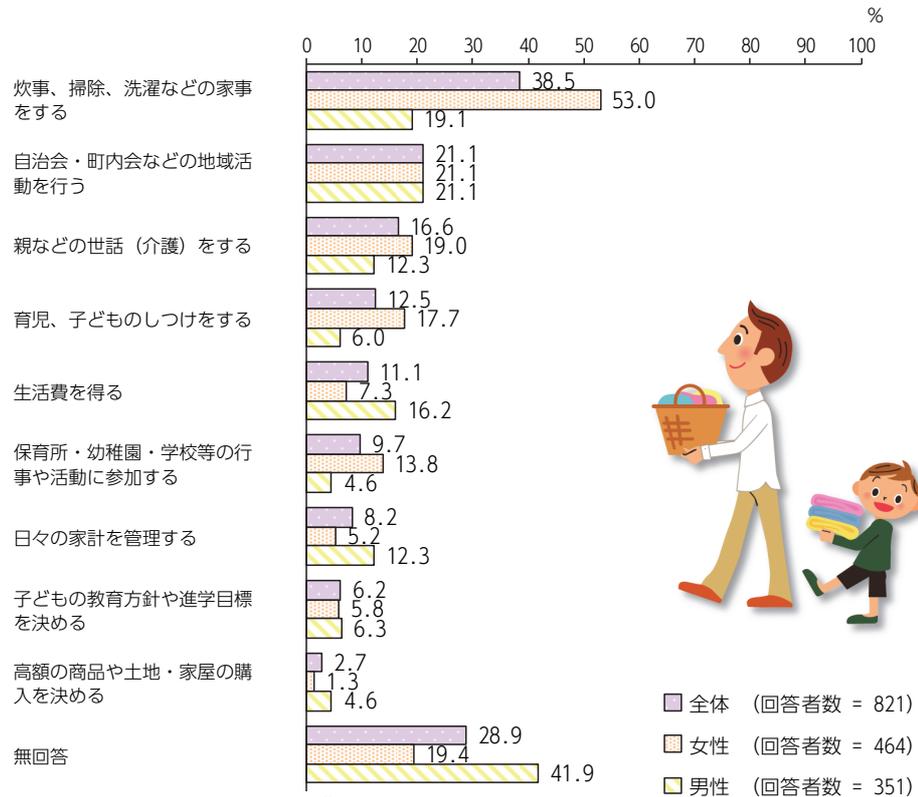
一日のうち家事をする時間

女性の家事時間は『2時間以上』が約6割となっていますが、男性では「していない」と、「30分未満」を合わせて約5割となっており、家事の多くを女性が担っていることがわかります。



配偶者・パートナーにしてほしいこと

「炊事、掃除、洗濯などの家事をする」は女性で5割を超えており、男性の2倍以上となっています。また、「育児、子どものしつけをする」「保育所・幼稚園・学校等の行事や活動に参加する」も男性に比べ女性の方が高くなっていることから、女性は、男性の家事や育児への参加を求めていることがうかがえます。

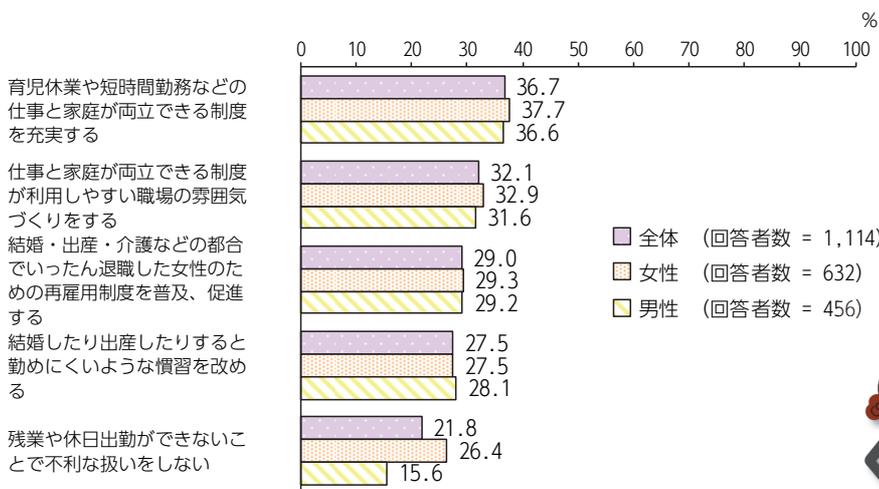


仕事、ワーク・ライフ・バランス

令和元年度内閣府の男女共同参画白書では、女性の46.9%は第1子出産を機に仕事を辞めています。女性が職業を持ち働き続けるためには、仕事と家庭が両立できる制度の充実やそれを可能にする職場環境の整備、再雇用制度の整備等が重要です。また、あわせて男性の家庭生活への参画と育児休業の取得を進めていく必要があります。

女性が職業を持ち働き続けるために必要なこと（上位5項目）

「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」が3割を超えており、仕事と家庭が両立できる制度の充実や、それを可能にする職場環境の整備、その他再雇用制度の充実などが求められています。

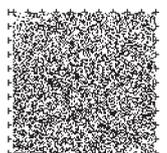
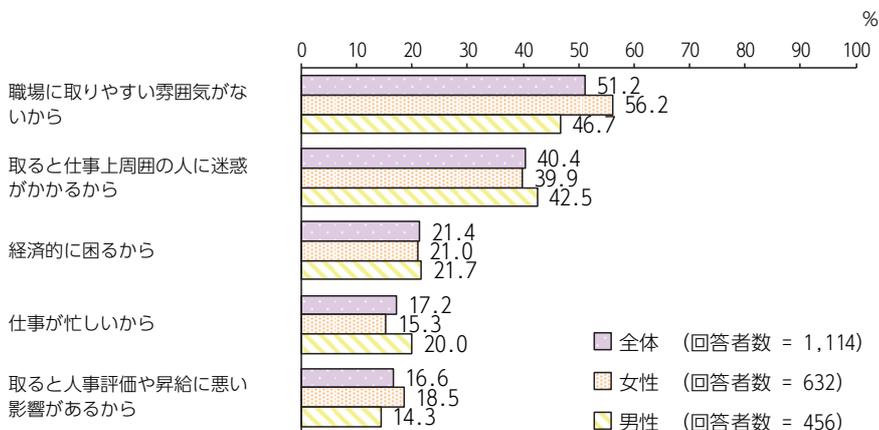


※複数回答



男性が育児休業を取得しない理由（上位5項目）

「職場に取りやすい雰囲気がないから」が約5割、「取ると仕事上周围の人に迷惑がかかるから」が約4割と高くなっており、職場において男性の育児休業への理解が低く、取得しづらい雰囲気や環境があることがわかります。

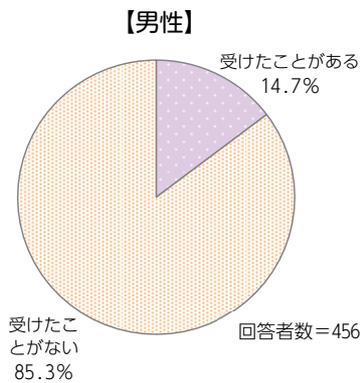
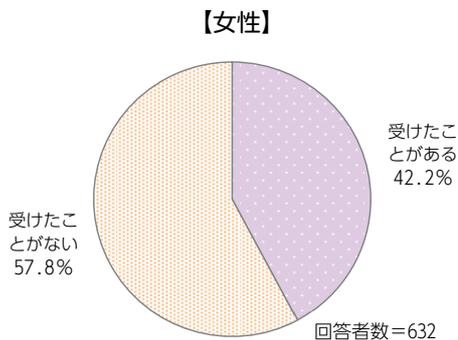


女性への人権侵害

セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)をはじめ、ドメスティック・バイオレンス(パートナーや恋人からの暴力)や性暴力等の女性に対する暴力は、犯罪となる行為も含む重大な人権侵害であり、克服すべき重要な課題です。暴力の加害者にも被害者にもならないための啓発や教育を進めるとともに、被害を重篤化しないための相談窓口に関する情報の周知や相談しやすい環境を整えることが必要です。

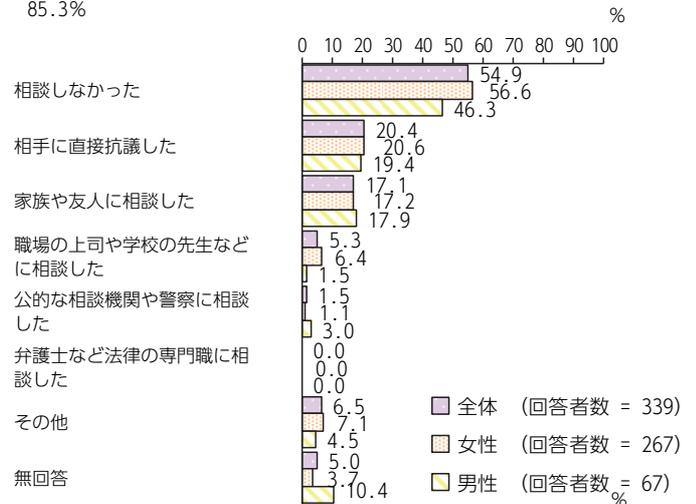
セクハラを受けた経験

セクシュアル・ハラスメントを受けた女性は 42.2%と、約2人に1人が何らかのセクシュアル・ハラスメントを受けた経験を持っています。



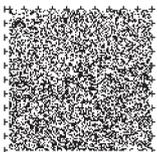
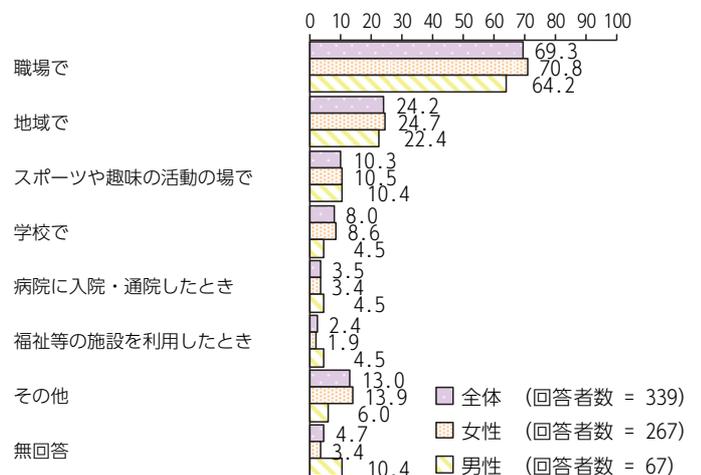
相談したか

「相手に直接抗議した」人は男女とも約2割しかいません。「相談しなかった」人は男女とも約5割となっており、半数が相談できていない状況です。相談した人も家族や友人が2割弱で、市や警察、弁護士などの公的機関や専門家に相談した人はたいへん少なくなっています。



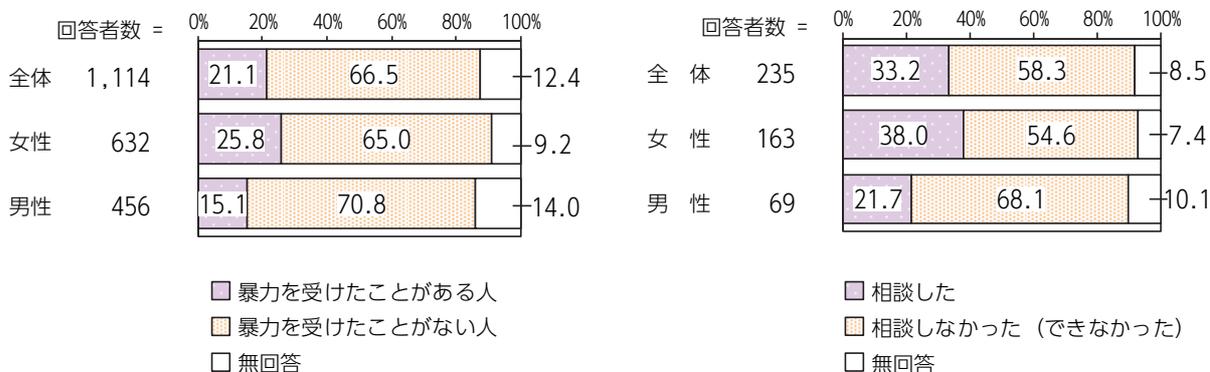
セクハラを受けた場所

セクシュアル・ハラスメントを受けた場所は、男女とも「職場」が最も高く約7割、次に「地域」の約2割となっています。いずれも身近な社会生活の場で被害が起こっていることから、近い関係の中でのハラスメントに対する啓発を進めていく必要があります。



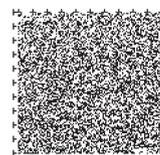
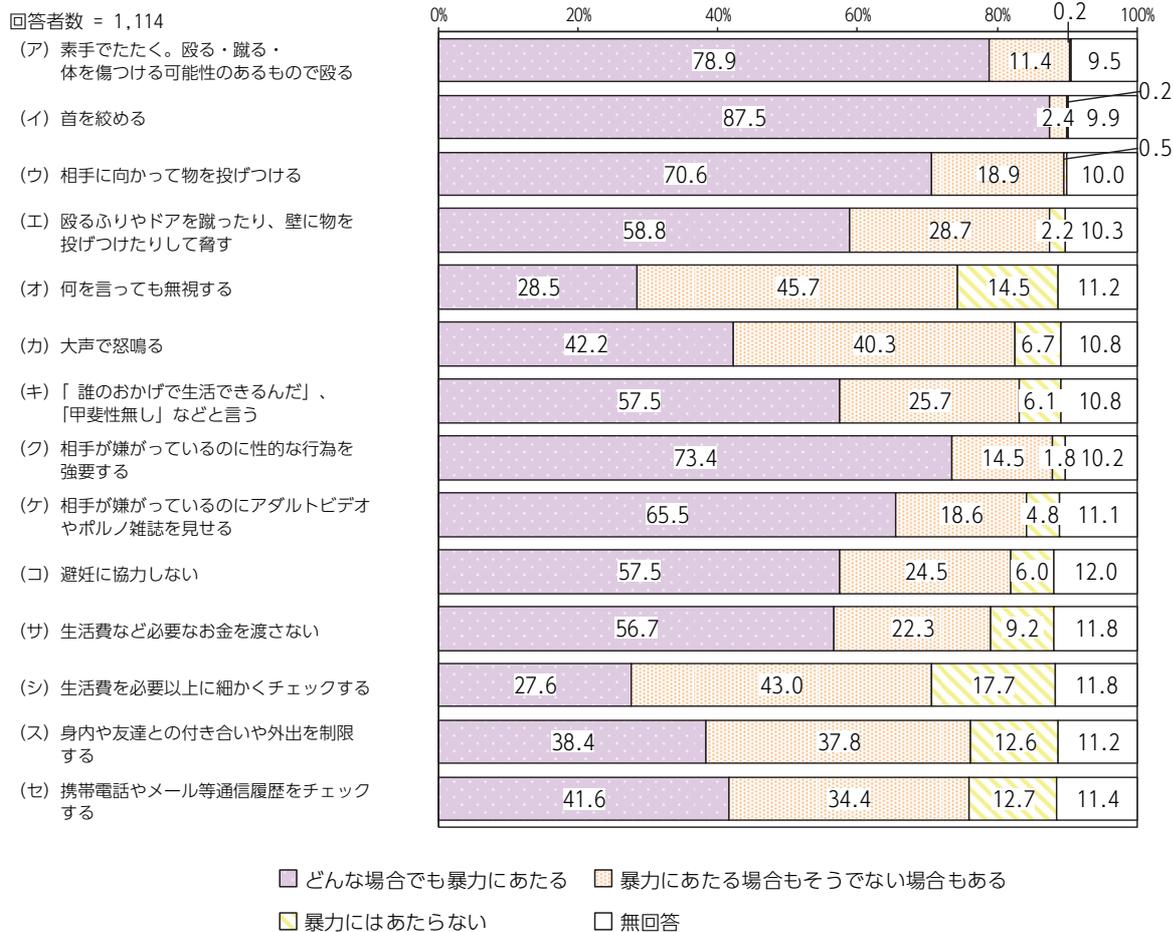
DVを受けた経験・相談したか

パートナーから暴力を受けた女性は 25.8%となっており、約4人に1人が何らかの暴力を受けた経験を持っています。そのことを、「相談しなかった(できなかった)」人は5割を超えており、相談できていない状況がうかがえます。



暴力だと思うか

これはいずれも暴力にあたります。「(ア)たたく」や「(イ)首を絞める」の身体的暴力は、暴力の認識が高くなっています。一方、「(オ)何を言っても無視する」の精神的暴力や「(シ)生活費を必要以上に細かくチェックする」の経済的暴力は、暴力に対する認識が低いことが分かります。

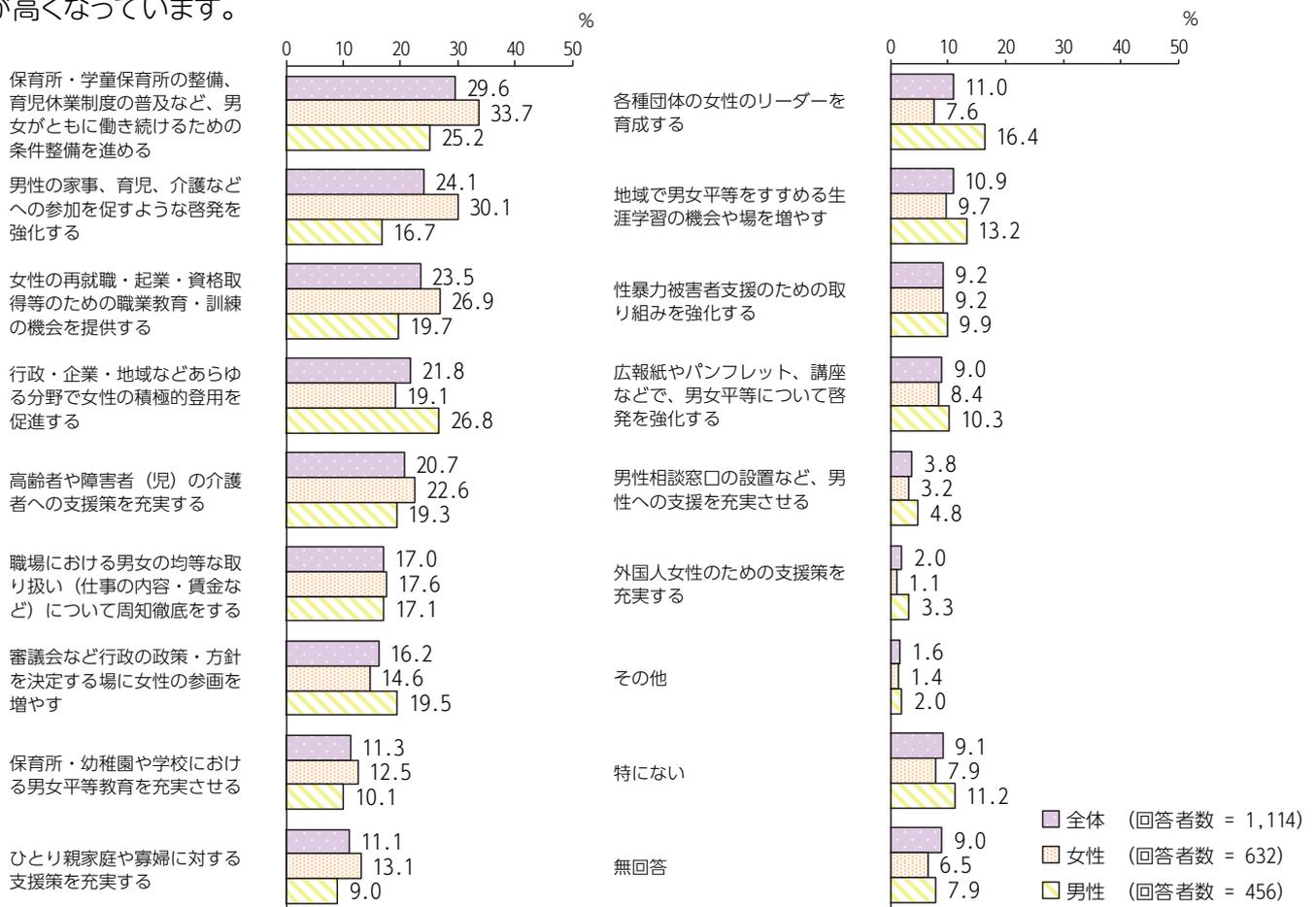


男女共同参画社会の実現

「市民一人ひとりが輝く都市久留米」を目指して人権の尊重と男女共同参画が確立されたまちを実現するために、固定的性別役割分担意識を解消し、男女が対等なパートナーとして認め合い、それぞれがあらゆる分野で自らの能力を発揮できる男女平等な社会づくりを、さらに進めていく必要があります。

男女共同参画社会実現のために望む施策

「保育所・学童保育所の整備、育児休業制度の普及など、男女がともに働き続けるための条件整備を進める」「男性の家事、育児、介護などへの参加を促すような啓発を強化する」「女性の再就職・起業・資格取得等のための職業教育・訓練の機会を提供する」等が上位にあがり、いずれも女性の割合が高くなっています。



調査の概要

市民の男女平等に関する意識と実態を把握し、第4次久留米市男女共同参画行動計画及び第3次DV対策基本計画策定の基礎資料として実施しました。

- 1 調査地域 久留米市全域
- 2 調査対象者 18歳以上の男女3,000人
- 3 回収率 有効回収数1,114人（有効回収率37.1%）
- 4 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 5 調査方法 郵送法
- 6 調査期間 令和元年7月19日～8月6日

